

指導士認定制度委員会よりお知らせ

心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会

安達 仁

I. 第19回心臓リハビリテーション指導士認定試験について

平成30年7月の第24回学術集会に合わせて第19回日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士の講習会ならびに試験を行います。

1. 受験・出願資格

・医師、看護師、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士、臨床心理士、健康運動指導士、作業療法士のうちいずれかの資格を有していること。

・申し込み時に2年以上の会員歴が必要となります。これは、受験申込時の直近2年以上継続して会員であるということです。従って、第19回指導士試験の受験希望者は平成28年4月までに入会している必要があります。

・心臓リハビリテーション指導の実地経験が1年以上あること、または心臓リハビリテーション研修制度により受験資格認定証の交付を受けていること。

・所属長の推薦を受けていること（実地経験に関する証明書を兼ねる）。

2. 申請書類・出願方法

学会HPからダウンロードしてください。

出願期間は平成30年4月末前後の約2週間を予定しています。学会HPを注意深くチェックしてください。送付先は学会事務局です。

3. 受講料・審査料：受講料10,000円（第一部免除の方は4,000円）、審査料15,000円

*5月頃に行われる書類審査に通過した方のみに、受講料・審査料の振込用紙を事務局から送付いたします。通常の会費振込口座とは異なるため、必ずその振込用紙で指定した期日までにお振込ください。

*納入した受講料、審査料は理由の如何を問わず返還いたしません。

*理由無く期日までに受講料、審査料を納付されなかった方は以後の受験を認めません。

4. 第19回講習会ならびに試験の概要（予定）

募集人員：900人

会場：パシフィコ横浜（7月15日、16日）

日時：平成30年7月15日（日）（学術集会終了後）

*講習会第一部前半

- ・総論 運動生理学・運動心臓病学
- ・運動処方 心リハプログラム（急性期・心臓術後）
- ・運動処方 心リハプログラム（回復期・維持期）

平成30年7月16日（月・祝日）

*講習会第一部後半

- ・救急処置・安全管理
- ・心肺運動負荷試験実習

*講習会第二部

- ・総論 病態生理・診断治療
- ・栄養学
- ・臨床心理学

*試験（60分）

講習会・試験の注意事項

- 1) 平成30年3月頃に学会HPに募集要項を掲載します。
- 2) 指定期日内に受講料・審査料を払いこんでください。
- 3) 当日は、受験・受講者用の受験・受講票（写真添付）をご持参ください。当日忘れた方の受験は一切認めません。受講票はスマートフォンなどに撮影してあったものを提示しても原本以外は認めません。
- 4) 第一部免除の方は、該当する第一部免除の受講証明書を当日持参してください（コピー不可）。
- 5) 「心臓リハビリテーション必携」（心臓リハビリテーション指導士養成テキスト）をもとにして講義をする予定です。テキストは事前に購入することを強くお勧めします。
- 6) 講習会の遅刻、早退は認めません。
- 7) 講習会のビデオ撮影・写真撮影・録音は禁止します。撮影、録音行為が発覚した場合には受験資格を失います。
- 8) 心肺運動負荷試験の実習は呼気ガス分析装置を用いた実技デモを行います。
- 9) 試験はマルチプルチョイス、マークシート方式です。指定された個数（1個あるいは2個）の正解を選んでください。2個選ぶ場合には、2つとも正解の場合に得点になります。各自、HBまたはBの黒鉛筆数本あるいはシャープペンシルと消しゴムを用意してください。
- 10) 合格発表は学会HPおよび通知にてお知らせいたします。
- 11) 試験内容は「心臓リハビリテーション指導士養成テキスト」と「日本循環器学会」などの各種ガイドラインから主に出题されますが、それらに含まれていなくても時々の特ピックスからも出题されます。テキストや直前の講習会は心臓リハビリテーション指導士として知っておかなければならないことが示されているものであり、ここ以外から試験問題が作成されないわけではありません。運動中の病態生理・運動処方や食事療法は必ず出题されますが、これらの項目はテキストや直前の講習だけではカバーされない可能性もあります。幅広い知識が必要です。また、心疾患の病態、検査所見の読み方、薬物療法なども、心臓リハビリテーション担当者として知っておかなければならないことは出题される可能性があります。

5. 指導士講習会第一部免除について

以下の3つの講習会のいずれかに参加され、受講証明書を発行された方は指導士講習会の第一部が免除されます。

① 第50回運動処方講習会 CPX Step-up 編（終了済みです）

日時：平成29年10月15日

会場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎

② 第51回運動処方講習会（終了済みです）

日時：平成29年11月26日

会場：電気ビル

③ 第19回埼玉心臓リハビリテーションセミナー

日時：平成30年4月29日

会場：埼玉医科大学国際医療センター

④ 第 55 回運動処方講習会

日時：平成 30 年 6 月 24 日

会場：東京ビックサイト

6. 症例報告について

受講申請書類の 10 症例の内容を審査します。同一施設・同一症例であっても、各自が独自の視点から問題点を抽出して心臓リハビリテーションを実施したことを記載すれば認められますが、他者の報告を模したことが明らかかな場合には受験資格が与えられません。同一施設の過去の報告を再利用することも禁じます。不正があった場合には厳正に対処します。

記載内容が不十分である、あるいは誤りがある場合には当該年度の受験は認めず、研修制度の利用を勧めることもあります。特に、運動耐容能、運動処方、患者指導・教育の記載について自信のない方は、積極的に心リハ研修制度を利用されることをお勧めします。不十分な記載内容の具体例は学会 HP を参照してください。

症例報告は資格審査の一部です。自験例報告書は自分自身が様々な心疾患に対して標準的な心臓リハビリテーションを実施し、十分な経験を積んだことを示すものです。心臓リハビリテーションとは、学会ホームページの最初の画面にある通り「心臓病を持つ方々の体力や不安・抑うつ状態を改善し、社会復帰を実現し、病気の進行を防ぎ、再発・再入院を減らすことをめざして、運動療法・生活指導・カウンセリングなどをおこなうプログラム」をさします。すなわち、自験例報告書には、心臓病に対して運動療法と生活習慣の改善を用いて介入したことを記述する必要があります。

心臓リハビリテーションプログラムの実施方法については、心筋梗塞が対象の場合には「心臓リハビリテーション標準プログラム」に記載されている内容が求められます。心不全、開心術後、大血管疾患、末梢動脈疾患についての学会としての標準プログラムはまだホームページにはありません。しかし、心筋梗塞に準じた質のプログラムを実施したことを示す記述が望まれます。また、運動療法や食事療法の内容は、10 症例それぞれの背景が異なるはずですから、それぞれに適切で根拠のある運動療法・食事療法・生活習慣の改善を行ったという個別の記載が必須です。心筋梗塞の場合、運動療法として有酸素運動とレジスタンストレーニングが標準プログラムの必須項目に含まれています。有酸素運動レベルを超えて実施したり、レジスタンストレーニングを行わない場合には、その理由・目的と期待される効果などにつき記述することが望まれます。また、6 分間歩行試験の結果から運動処方を作成した場合には、その計算根拠を記述することが望まれます。また、運動処方や生活習慣への介入も患者背景によって症例ごとに異なるはずですが、すべての報告書に「AT レベルあるいは Borg 1 11-13 で運動し、塩分 6g 未満を指導した」と同じ文章で記載されているのは不適切です。

10 症例の内訳は、可能な限り、狭心症・心筋梗塞、心不全、開心術後、大血管疾患、末梢動脈疾患の急性期と慢性期を混在させて下さい。自分が勤務している病院は急性期病院のため外来心臓リハビリテーションは実施しておらず、10 症例すべてが心筋梗塞や心不全の急性期であるという報告書は、自分が様々な症例に対して標準的な心臓リハビリテーションを経験して来たことを示す報告書としては不適切です。どうしても急性期の症例のみである場合には、退院後の再発予防、新規発症予防および心疾患の治療目的に、どのような介入と指導を入院中あるいは退院時に行ったかを記述することが望まれます。「何日目に立った、何日目に歩いた、何日目に退院した」という入院中の進行度だけを記載した報告書や、「退院時に有酸素運動と減塩を指示した」という具体性に欠ける報告書は不適切です。このような方は、可能ならば来年度研修制度を利用したり、近隣の心臓リハビリテーション実施施設で研修をしたりしてから受験することをお勧めします。

自験例報告書の対象疾患は心疾患が主たる疾患でなければなりません。過去に心筋梗塞をおこしたり、心不全と言えなくもない症例が何らかの理由で体力が低下し、その症例に離床促進を目指したりリハビリテーションを行ったという報告は廃用症候群に対する理学療法と捉えられ、資格試験を受ける際に提出する症例としては不適切

です。

以上、自験例報告書は、受験者が心臓リハビリテーション指導士として十分な標準的心臓リハビリテーションプログラムを経験していることを証明するものである、ということを確認して記述して下さい。

II. 心臓リハビリテーション研修制度について

指導士資格を取りたいが経験1年以上という条件を満たせない方のための制度です。心臓リハビリテーションプログラムに従い一定時間研修を行った方に対して、学会から心リハ指導士受験資格を与えようとするのが本研修制度の目的です。詳細は学会 HP をご覧ください。

実地経験の項以外は受験資格を満たす方が対象です。

3月~4月頃に応募があります。学会 HP をご確認ください。

平成29年度の研修実施施設は以下の29施設でした。

北海道大学病院

岩手医科大学病院附属循環器医療センター

東北大学病院

群馬県立心臓血管センター

埼玉医科大学国際医療センター

榊原記念病院

東海大学医学部附属八王子病院

聖マリアンナ医科大学病院

北里大学病院

やわたメディカルセンター

岐阜大学附属病院

国立循環器病研究センター

関西医科大学附属枚方病院

京都府立医科大学附属病院

京都大学附属病院

国立病院機構岡山医療センター

九州厚生年金病院

徳島大学附属病院

神戸市立医療センター中央市民病院

獨協医科大学日光医療センター

九州大学病院

福岡大学病院

昭和大学病院

鹿児島大学病院

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

順天堂大学医学部附属順天堂医院

岡山赤十字病院

昭和大学病院

久留米大学医療センター

岡山大学病院

III. 心臓リハビリテーション指導士資格更新について

心臓リハビリテーション指導士は5年ごとに更新が必要です。

1. 更新の条件

- ・5年間に、更新のための認定講習会等に参加して50単位以上取得している。
 - ・期間中に日本心臓リハビリテーション学会学術集会に最低1回参加している。
 - ・会費を完納している。(更新年度の会費も含)
 - ・資格更新料10,000円を入金済みである。
 - ・申請書類を事務局に送付済みである(場合によってはFAXも可能)。
- *最終の更新書類一式は、学術集会終了後、その範囲も反映させたくて8月下旬頃事務局から郵送します。自己申告分の単位も、最終更新書類一式が届いてから申請してください(それまでに届いたものはすべて返却しております)。

2. 更新のための単位が認められる学会

- ・日本心臓リハビリテーション学会学術集会に参加15単位
 - ・日本心臓リハビリテーション学会学術集会における、一般演題、シンポジウム等における演者として発表10単位
 - ・日本心臓リハビリテーション学会学術集会における座長5単位
 - ・日本心臓リハビリテーション学会地方会に参加5単位
 - ・日本心臓リハビリテーション学会地方会で演者として発表3単位
 - ・本学会が認定し本委員会が主催する講習会に参加5単位
 - ・本学会が認定する教育プログラムあるいは講演に参加3単位
 - ・本学会が認定する学会に参加5単位
 - ・本学会が認定する学会にて関連する内容の演者として発表5単位
 - ・本学会が認定する講習会に参加3単位
 - ・本学会が認定する研究会に参加3単位
 - ・日本心臓リハビリテーション学会誌に筆頭著者論文の掲載10単位
 - ・本学会が認定する学術誌に関連する内容の筆頭著者論文の掲載5単位
- *関連学会(以下の学会の総会です。地方会には適用されません)

1. 日本循環器学会
2. 日本動脈硬化学会
3. 日本心臓病学会
4. 日本高血圧学会
5. 日本成人病学会
6. 日本内科学会
7. 日本老年医学会
8. 日本糖尿病学会
9. 日本胸部外科学会
10. 日本リハビリテーション医学会
11. 日本体力医学会
12. 日本肥満学会
13. 日本集中治療医学会
14. 日本臨床生理学会
15. 日本心不全学会
16. 日本冠疾患学会
17. 日本理学療法士協会

18. 日本循環器病予防学会
19. 日本臨床スポーツ医学会
20. 日本心血管インターベンション学会、日本心血管カテーテル治療学会
21. 日本循環器看護学会
22. 日本臨床栄養学会
23. 日本心臓血管外科学会

3. 更新のための単位が認められる研究会

学会 HP をご覧ください。

4. 自己申告について

事務局で登録された単位以外で、他学会や認定単位が取得できる講習会に参加した証明をお持ちの場合は、更新書類とともに証明書を送付することで単位の不足を補うことができます。自己申告書類は必ず更新書類と同封して一括して送ってください。単位を取得するたびに事務局に送付する人がいますが、この場合はすべて返却します。

自己申告に用いる証明は、関連学会参加については参加証コピーに限ります。発表については、抄録をコピーし自分の名前部分にマーカーを引き、何年何月の何の学会の抄録なのかを記してください。学会誌等への掲載については論文の別刷りまたはコピーが必要になります。

認定講習会の参加証については、当学会指定の単位票が当日配布されますので、原本をお送りいただき、コピーは自身で保管してください。

有効になる単位は、認定期間中に取得したもの（実施された講習会等）に限りますので、認定証に記載のご自分の認定期間をご確認ください。

5. 資格の喪失について

- ・心臓リハビリテーション指導士としての資格を辞退したとき。
- ・本学会会員としての資格を喪失したとき。
- ・資格更新を受けないとき。
- ・心臓リハビリテーション指導士としてのふさわしくない行為のあったとき。
- ・更新延長者で、延長期間を過ぎても更新手続きが完了しないとき。

*延長期間については各自で把握し、その期間内に書類を整え、事務局へ送付してください。延長期間中に事務局から更新についてのご案内を差し上げることはありません。更新延長期間を過ぎても書類が送付されない場合は資格が失効しますのでご注意ください。

*住所不明により更新書類が届かず、資格失効となるケースが増えています。書類のお届け先が変更となる場合は、会員管理システムにログインし、変更をお願いします。

ご不明なことは事務局へご連絡ください。